鵜澤昌和写真集

往 時 片 々

No.1

BeeBooks

鵜澤昌和写真集

往 時 片 々

No.1　懐　古

BeeBooks

発刊によせて

鵜澤昌和さんの写真歴は長く戦前から今日まで続いている。しかもその作風は端正で崩れたところがない。

私は高校時代だったか、アサヒカメラ誌上に掲載された鵜澤作品を目にした記憶がある。

それは、この写真集にも集録されている作品と同時代、つまり旧満州に派遣された東京商科大学写真部時代のものであった。私は今日までこのことを記憶していたので、あらためて鵜澤さんの作品を幾つも見せて頂いて、当時の満州又は戦后の我が国の人々の様相が如実に正確に描かれているのを、写真集にされたら如何かと思い、すすめた次第である。

監修者という肩書を頂いているが、実は当時の満州などは実況を目にしたこともないのだから、専ら写真として後々まで残されるべき秀作に絞らせて頂いた次第である。

今日モノクロを主体とする戦前戦后の社会を写した写真集は数多く出版されているが、写真としてみるとき必ずしも値打のあるものばかりとは限らないから、写真としても観る人に訴える力のあるものを選ぶようにすすめた次第である。

カラーは何分時日の経過とともに変色するものが多いから、その中から、これもやはり訴える力をもつ作品を選ばせて頂いた。

それが果して作者の意図にそうものであったかどうか些か疑問ももつが、ともかく鵜澤さんらしい写真集の形成にお手伝いをした次第であった。

石橋幹一郎

はじめに

　写真を撮りはじめたのは少年時代からであった。それは機械いじりに興味があったからで、作画には関心がなかった。大学で写真部に入部して先輩、顧問（コダックジャパン田中良雄氏）の指導を受け、三商大展などの作品作りが課せられるに至って、漸く作画を意識することとなった。
とくに1939年(昭和14年)、毎日新聞社、南満州鉄道㈱の共催で、各大学学生チームによる満州撮影旅行のメンバーに加わったことは非常に大きな刺激となり、この時写真が生涯の趣味となることが決定したと思う。(ちなみにこのチームの団長は、大宅壮一氏であり、後にプロカメラマンとなった松田二三男氏も団員の一人であった。そして当時としては豪華な写真集「カメラ報告大陸」が毎日新聞社から出版されている)
　この写真集は、50年以上も前から最近に至るまで、折々に写してきたものの中から、自分の好きなものを記念としてまとめたものであり、あくまで私家版としてのものである。モノクロームとカラーを2分冊にし、各冊を2部に分けたので計4部構成となったが、それぞれに特別の意図や主張があるわけではなく、好みの写真の寄せ集めに過ぎない。私の記念として見て頂ければ幸いである。

No.1 懐古　　序文

　この写真集 No.1 は、1939年の満州撮影旅行の際の作品の中から自分の好きなものを選んで第1部とし、さらにその前後の数年、今では想像も出来ない程緊迫した戦時体制下の毎日の生活の中で、僅かな平安を求めて写した作品の数点を集めて第2部として構成した。

　第2部の作品は、暗い緊張した世相の中で、あえて抒情的な雰囲気を求めた結果のもので、良く言えばサロン調、実際は甚だ甘い内容に過ぎないものとなっている。

第1部　赤い夕日の満州

(1939)

1　馬車の行く街　　新京(長春)(Changchung)
アマチュアカメラNo.93(昭14.8)

2　蹄の音　　新京(長春)(Changchung)
写真月報(昭14.8)

3　斜陽　　新京（長春）(Changchung)

4　静かな街　　大連(Talien)

5　李香蘭　　新京（長春）（Changchung）
カメラ報告大陸（昭14.12）

6　蒙古僧　　王府(科爾沁)(Khorchin)

7　内庭にて　　承徳(Chengteh)
写真サロン(昭14.8)

8　水を汲む　　承徳(Chengteh)
カメラ報告大陸(昭14.12)

9　土の街　　承徳(Chengteh)

10　草原を行く（1）　王府（科爾沁）(Khorchin)
写真月報（昭14.8）

11　草原を行く(2)　　王府(科爾沁)(Khorchin)
ガレリー(昭14.8)

12　昿野に羊を飼う　　王府(科爾)(Khorchin)
写真月報(昭14.8)

13　花を買う婦人　　哈爾浜(Harbin)

14 墓参　哈爾浜(Harbin)

15　教会の墓地　　哈爾浜(Harbin)

カメラ報告大陸(昭14.12)

16　白ロシアの少年　　哈爾浜(Harbin)

17　礼拝のあと　　哈爾浜(Harbin)
写真月報(昭15.6)

18　貧しい白ロシアの母子　　哈爾浜(Harbin)

19　昆明湖にて　　北京(Beijing)

20　北海公園　　北京(Beijing)

第2部　つかの間の平安

（1938～1941）

21　静物

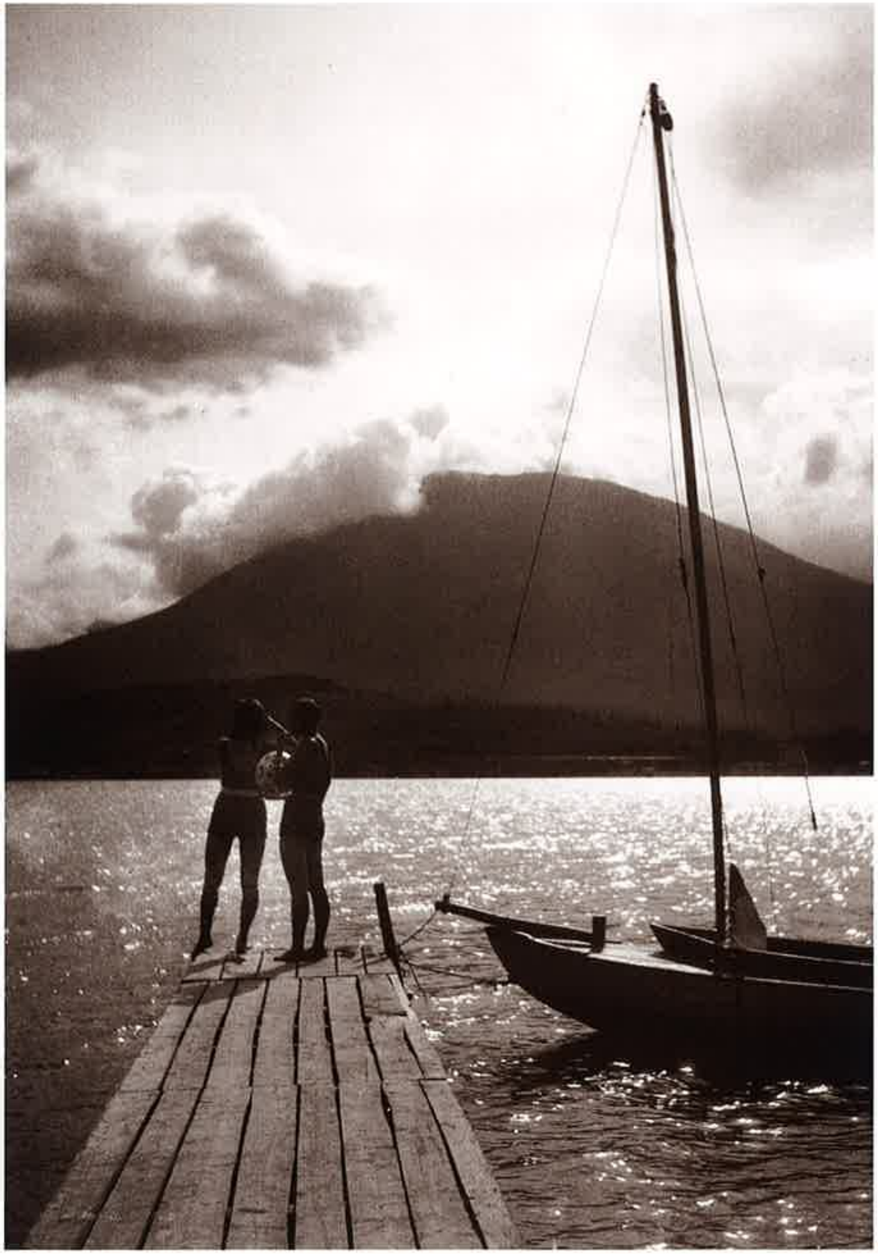
22　ローソクと少女

23　春光うらら

24　弓道修行

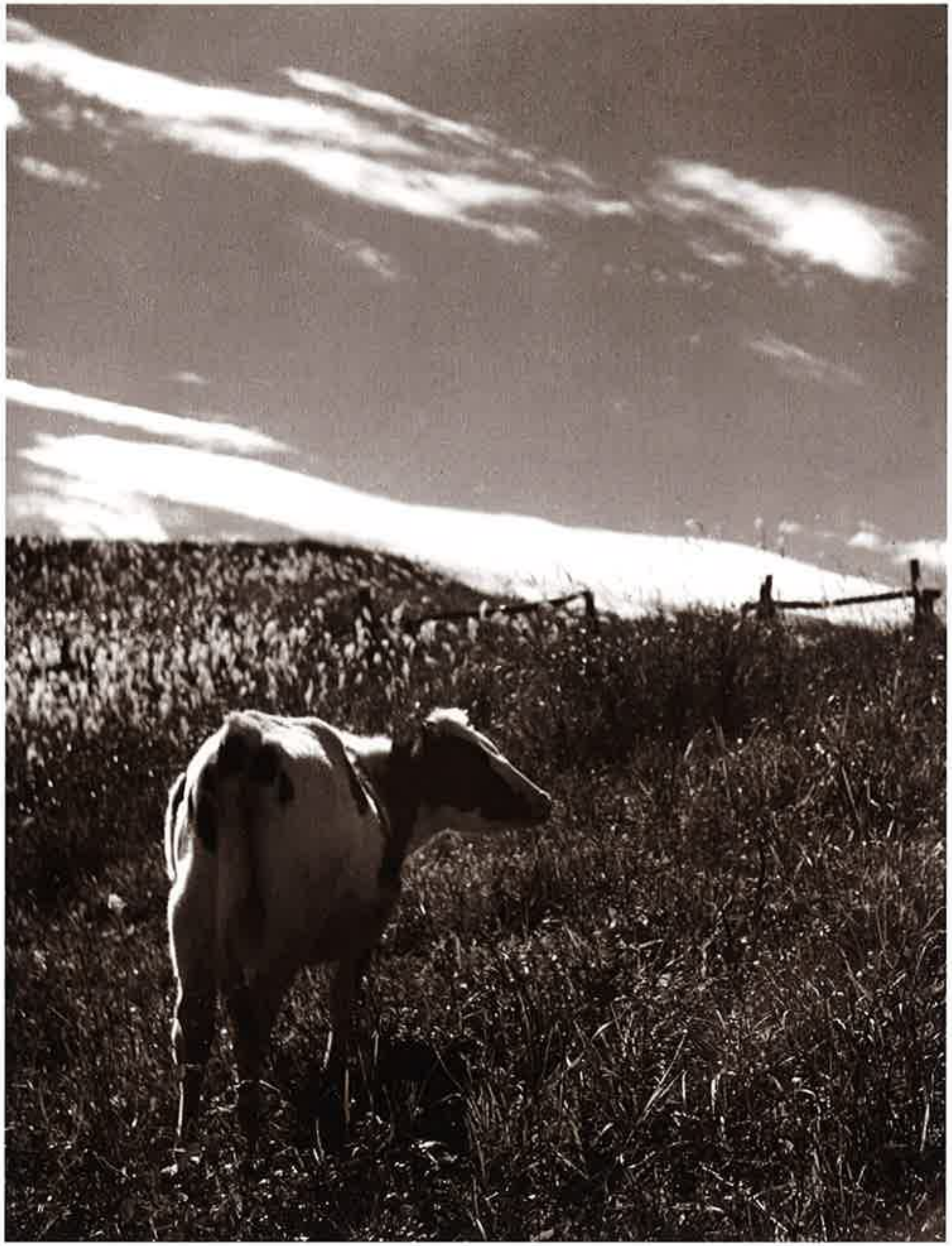
25　志賀高原にて

26　野尻湖(I)



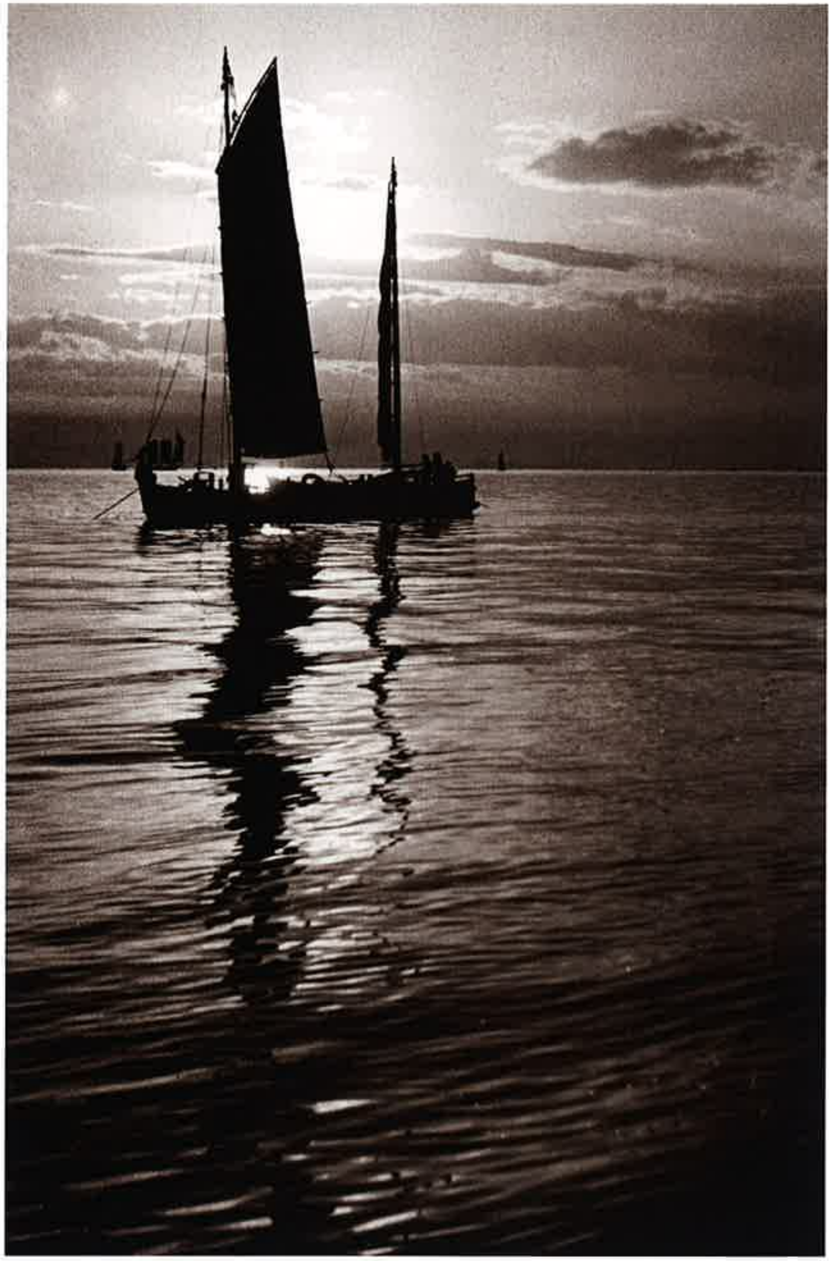
27　野尻湖(2)

28　牧場の朝(1)　　(神津牧場)
朝日カメラ(昭15.1)

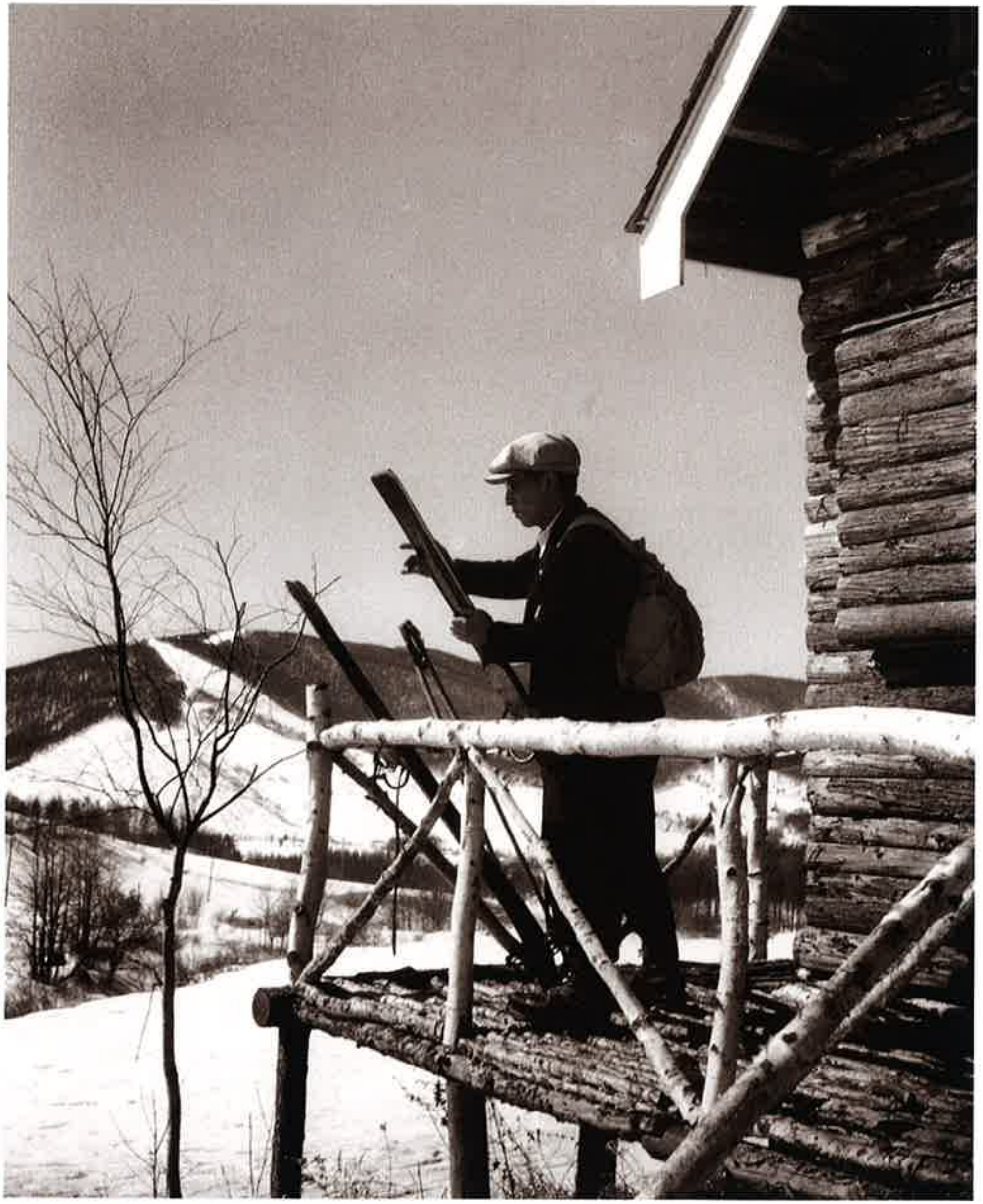


29　牧場の朝(2)　　(神津牧場)

30　夕凪(Ⅰ)　　(沼津)



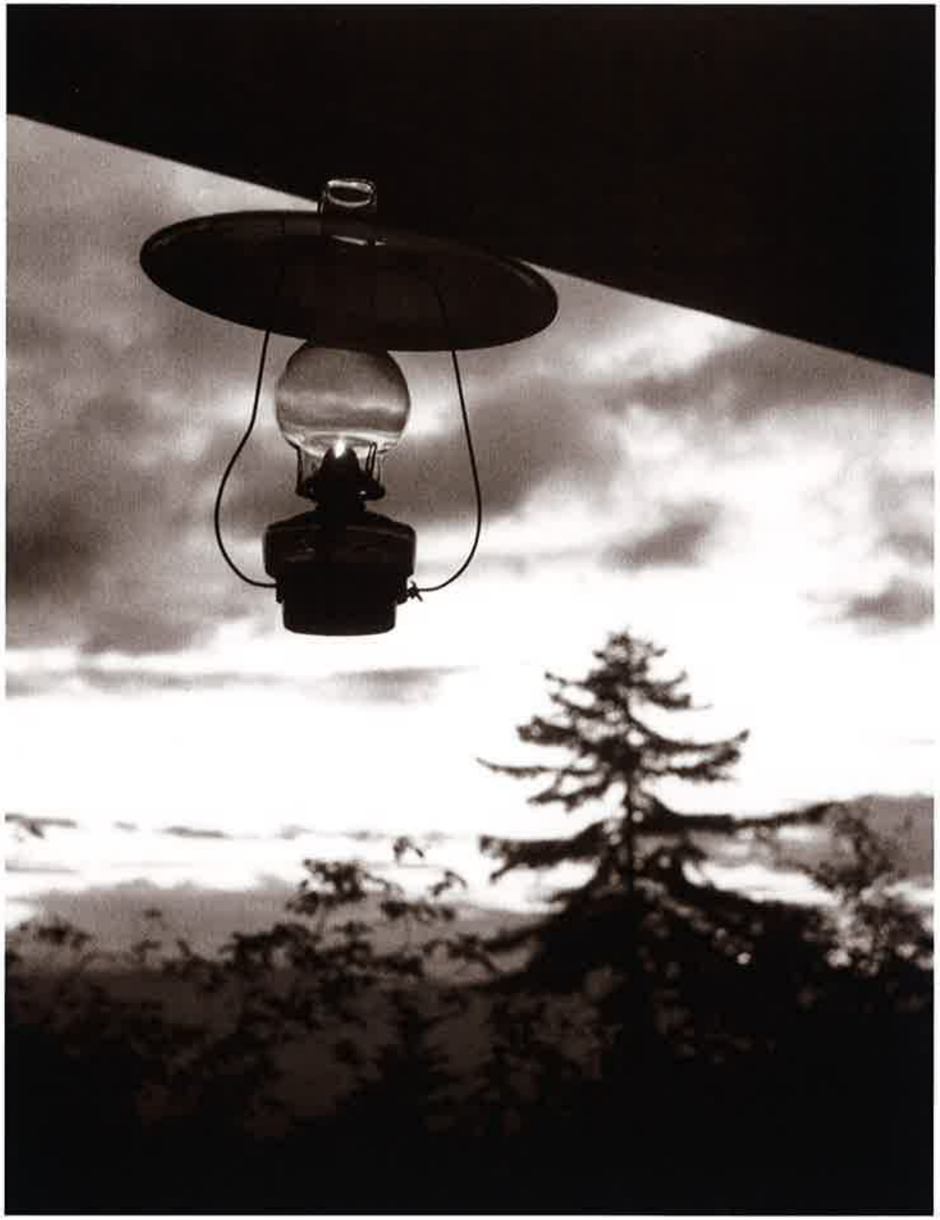
31　夕凪(2)　　(須磨)
アマチュアカメラ(昭14.5)



32　ヒュッテにて　　（菅平）

33　クリスチャニア　　（菅平）

34　ジャンプターン　　（菅平）



35　秋の夕暮れ　　（定山渓）

鵜澤昌和略歴

1918年　東京市にうまれる
1942年　東京商科大学（一橋大学）卒業
1943年　海軍主計大尉任官
1946年　ブリヂストンタイヤ入社
1965年　青山学院大学経営学部教授
1982年　同経営学部長
1983年　同学長
1989年　東京家政学院大学学長
現在　青山学院大学名誉教授

住所　東京都目黒区上目黒3-31-15

鵜澤昌和写真集
往事片々(No.1)
――懐古――

発行日――1995年4月8日

著者――鵜　澤　昌　和
監修――石　橋　幹一郎
制作協力――伊　藤　　武
印刷管理――新　木　恒　彦
飯　島　　清

発行所――光村印刷株式会社
東京都品川区大崎1-15-9
Tel.(03)3492-1177
Fax.(03)3495-2939
印刷――光村印刷株式会社

ISBN4-89615-697-8

鵜澤昌和写真集 No.1

BeeBooks

BeeBooks
ISBN4-89615-697-8 C0372 P2000E
定価2000円(本体1942円)